

監督・代表者会議資料（団体戦）

和歌山県中学生バドミントン連盟

<競技上の注意事項>

1. 本大会は、本年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び、大会運営規程並びに公認審判員規程に基づき実施する。
2. プログラムの誤記・訂正・棄権等がある場合は本監督会議にて必ず報告し、了承を得ること。ベンチ入りする監督やコーチに変更がある場合も同様とする。
3. 初回戦以降は流し込み方式で進行するが、進行状況により試合順序が変更される場合があるため、館内放送に十分注意すること（タイムテーブルはあくまで予定）。試合コール後は速やかにコートに入ること。コール後5分を経過しても選手がコートに入らない場合は棄権とみなす。
4. 団体戦の試合順序は、単1→複→単2の順に行う。
※同一選手が複数種目に重複して出場することは認めない。（オープン戦はこの限りでない）
5. 予選リーグ戦分のオーダー用紙は、監督・代表者会議で配布し、決勝トーナメント戦分のオーダー用紙は、本部席で配布する。
オーダー用紙は放送でのコールを受けて速やかに本部席（オーダー受付所）に提出のこと。提出後のオーダー変更は認めない。
6. 予選リーグは、チームの勝敗決定後も定められた全試合（単1・複・単2）を行う。
決勝トーナメントは、チームの勝敗が決定した時点で残りの試合は打ち切りとし、以降の試合は行わない。なお、試合の進行状況により、複数コート並行で実施する場合がある。
7. 各チームの「最初の対戦試合」に限り、各試合前に3分間の練習時間を認める。2試合目以降の対戦では、通常の試打1回のみとする。
8. 試合が連続する場合は、原則として前試合終了から10分後に次の試合を開始する。
9. 選手は背面にチーム名（学校名）及び選手名が記載されたゼッケンを着用すること。
ゼッケンは必ず四隅を固定し、文字色は黒または濃紺とする。
10. 競技中の着衣は、（公財）日本バドミントン協会審査合格品または中学校指定体操着とする。
試合開始時には上衣の裾を下衣の中に入れること。
11. コーチ席には監督・コーチまたはマネージャ・選手のいずれか2名まで入ることができる。
12. インターバル時のアドバイスはコーチ席入りしている者に限る。
13. 試合中の給水及びタオルの使用はインターバル時または主審の許可がある場合に限り認める。
容器は蓋付きで、倒れてもこぼれないものを使用すること。
14. 試合球は、（公財）日本バドミントン協会検定球を使用し、室温に適したものを選定する。
15. コート及び競技区域内において、選手、監督及びコーチ等による電子通信機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等）の使用を禁止する。
16. 試合中のトラブルについては、その時点で双方の監督及び大会役員が協議の上、対応する。

<予選リーグの順位決定方法>

予選リーグの順位は以下の順序で決定する。

- 1) 勝ち数の多いチームを上位とする。
- 2) 勝ち数が同じ場合は、マッチ（試合）数の得失差の多いチームを上位とする。
- 3) マッチ数の得失差が同じ場合は、ゲーム数の得失差の多いチームを上位とする。
- 4) ゲーム数の得失差が同じ場合は、得点（ポイント）の得失差の多いチームを上位とする。
- 5) それでも決まらない場合は、当該チーム同士の対戦結果によって決定する。

<審判上の注意事項>

1. 主審および線審（得点係）は対戦チーム同士による相互審判ではなく、同一リーグ内の他チーム（空きチーム）で担当する。※原則当該試合の両チームは担当しない。
決勝トーナメントの主審および線審（得点係）は本部より指名する。
2. サービスジャッジは原則として配置しない。
3. 試合前に1回の試打を認める。
4. スムーズかつ円滑な試合進行のため、選手はその都度得点を確認しながらプレーすること。
得点係もスコアに誤りがないか確認しながら行うこと。

<会場使用上及び一般上の注意事項>

1. 体育館使用上の諸注意を厳守し、ゴミは各チーム及び個人で責任を持ってすべて持ち帰ること。
2. 荷物及び貴重品は各自の責任で管理すること。紛失・盗難等に関し、一切の責任を負いません。
3. 観客席からの写真・動画撮影は可とする。ただし、SNSや動画投稿サイト等、不特定多数が閲覧可能な媒体への公開は一切禁止する。あくまで良識の範囲内で個人利用に限る。
4. 熱中症対策については、各チームで十分に注意・対応すること。